

令和 8 年度

中農水（整）委託第 18 号

園村地区挙動解析業務

特 記 仕 様 書

弘前市大字沢田 地内

青森県中南農林水産事務所

業 務 委 託 特 記 仕 様 書

業務番号	中農水(整)委託第 18 号
業 務 名	園村地区挙動解析業務
業務場所	弘前市大字沢田 地内
履行期間	契約締結の翌日～令和 9 年 3 月 25 日

第 1 章 総則

(適用範囲)

第 1 条 本業務の実施にあたっては、青森県農林水産部制定「地質・土質調査業務
共通仕様書」、「農村整備設計業務共通仕様書」(以下「共通仕様書」という。)
によるほか、この特記仕様書によるものとする。

(作業目的)

第 2 条 地すべり防止区域である園村地区及びその周辺の挙動解析と評価・考察を
行うものである。

(作業場所)

第 3 条 本業務の作業場所は、弘前市大字沢田地内で別添位置図に示すとおりであ
る。

(適用する図書)

第 4 条 本業務の設計に関しては「土地改良事業計画設計基準 計画 農地地すべり
防止対策(令和 4 年 5 月)」を優先して適用する。他の図書を適用する場合は
調査職員の指示を受けるものとする。

(作業条件)

第 5 条 作業における条件は次のとおりである。

項 目	内 容
基本条件	地すべり防止対策 1 式
防止区域名	園村
区域面積	29.83ha
関連ダム名	相馬ダム
関係機関	・河川管理者(東北地方整備局)(本区域はダム貯水池内 にある) ・学識経験者(弘前大学農学生命科学部)

(参考図書)

第6条 作業の参考にする図書は、共通仕様書第2-1条によるほか、次によるものとする。

名 称	編者・著者・発行所	制定（改訂）年月
土木製図基準（JIS A 0101 土木製図）	土木学会	H 21. 12
土地改良事業計画設計基準 計画「農地地すべり防止対策」	(社)農業土木学会	R 4. 5
農業農村整備事業設計積算の手引	青森県農村整備課	R 6. 4
標準設計図集	//	H 19. 4
青森県農業農村整備事業 設計業務マニュアル	//	R 3. 4
農地地すべり対策事業便覧	(社)農業農村整備情報総合センター	H 9. 3
その他	上記の他、調査職員が承諾したもの	

(貸与資料)

第7条 発注者の提示する貸与資料は以下のとおりである。

貸 与 資 料 名	部数	備 考
・委託報告書(令和7年度まで)	各1部	

(参考図書及び貸与資料の取り扱い)

第8条 前2条及び共通仕様書に示す参考図書、貸与資料等の取り扱いは次のとおりとする。

- 1 参考図書及び貸与資料の記載事項で相互に矛盾がある場合や解釈に疑義が生じた場合は、調査職員と協議する。
- 2 参考図書は設計作業時点の最新版を用い設計作業中に改定された場合には、調査職員と協議する。
- 3 貸与資料は原則として、第1回打合せ時に一括貸与するものとし、調査職員の請求があった場合のほか完了検査時に一括返納しなければならない。

第2章 作業内容

(作業概要)

第9条 作業の概要は以下のとおりである。

項 目	内 容
挙動解析	観測結果の各ブロックの評価・考察。
報告書等作成	挙動の評価・考察・判定資料、報告書の取りまとめ。

(作業項目)

第10条 作業の項目は以下のとおりである。

作業項目	作業内容	単位	数量	備考
1. 挙動解析				
現地調査	各地すべりブロック (D、E、EL、B-2、M) を調査し、データロガーの電池交換を行う。	式	1	
各ブロックの挙動の評価・考察・判定	B-2、Mブロックの観測結果に対する評価及び考察、判定を行う。	式	1	
移動変形調査	各地点の計器で観測されたデータの整理、取りまとめを行う。	式	1	
2. 報告書等作成				
取りまとめ資料作成	①挙動の評価・考察・判定資料 ②報告書の作成	式	1	

(調査作業の留意点)

第11条 作業上特に留意する点は下記のとおりである。

- 1 観測データに異常値が認められた場合は、調査職員と協議してデータとりまとめするものとする。また、欠測等が明らかとなった場合は迅速に調査職員に報告すること。

(管理技術者)

第12条 管理技術者は共通仕様書の規定によるものとする。

技術部門・選択科目は次のとおりである。

- ・技術士：建設部門-土質及び基礎又は応用理学部門-地質
- ・博士：工学、理学、学術（土質及び基礎を専門とする。）
- ・シビルコンサルティングマネージャー（RCCM）：土質及び基礎部門、地質

第3章 打ち合わせ

(打合せ)

第13条 共通仕様書第1-10条の打ち合わせ時期回数については以下のとおりである。

回数	作業段階	内 容
第1回	作業着手前	作業の基本的事項及び業務計画についての打合せ。
第2回	中間打合せ	観測及び調査結果について打合せ。
第3回	報告書作成段階	成果品の取りまとめ方について打合せ。
※いずれの場合も打合せ簿により相互確認する。		

第4章 成果品

(成果品名及び提出部数等)

第14条 提出すべき成果品名及び部数等は次のとおりとする。

成果品名	規格			部数	備考
	サイズ	縮尺	仕上げ		
1. 報告書 2. 電子成果品	A-4	— —	A4縦	2部 2部	電子成果品の作成は、「青森県電子納品運用ガイドライン」に基づき進めること。
装丁・分冊方法	報告書は1分冊とし、表紙には委託番号、委託名を記入すること。 Gファイルのパイプ式を標準とする。				
提出先	青森県中南農林水産事務所 水利防災課				

第5章

(その他)

第15条 その他の作業において遵守すべき事項は以下のとおりである。

項目	内容
打合せ	打合せについては、作業上必要がある場合はその都度打ち合わせを行う。
現場写真	路線の状況等を把握できる写真撮影を行うこと。

第16条 本業務は、電子納品対象業務である

電子成果品の作成は、「青森県電子納品運用ガイドライン」に基づき進めること。

なお、国土交通省が定める電子納品に関する要領・基準は、国土交通省国土技術製作総合研究所のホームページ【<http://www.cals-ed.go.jp/>】で閲覧、ダウンロードできる。

また、「青森県電子納品運用ガイドライン」は、青森県庁のホームページ【<http://www.pref.aomori.lg.jp/kotsu/build/ken-gijutsu.html>】の「CALS/EC」のページよりダウンロードできる。

第17条 本業務に計上する一括計上価格は、最低制限価格の算出において直接調査費として取り扱うものとする。

内 容		数 量	単 位	備 考
挙動観測	自動観測	34	基回	17基×2回＝34基回

【参考】令和8年度 挙動解析の調査内容（内訳）

ブロック名	観測孔名	観測形態	観測計器名	測定頻度	R5観測結果 変動種類	観測（自動計測データ回収）													数量 (回)	観測			資料整理				
						4月 融雪期後	5月	6月 梅雨	7月 梅雨後	8月	9月 台風期	10月 低気圧雨	11月	12月 積雪前	1月	2月	3月 融雪期	半自動		自動	半自動		自動		手動		
B-2ブロック	H17B-3	自動	パイプ歪み計、水位計	1回／日	変動B			1						1				2			1			1			
	H17B-4	自動	パイプ歪み計、水位計	1回／日	変動C			1						1				2			1			1			
	H19B-7W	自動	水位計	1回／日				1						1				2			1			1			
	H19B-7	自動	孔内傾斜計、水位計	1回／日	-			1						1				2			1			1			
	H19B-8	自動	パイプ歪み計、水位計	1回／日	変動C			1						1				2			1			1			
	H24B-1	自動	孔内傾斜計	1回／日	変動E			1						1				2			1			1			
	H24B-1W	自動	水位計	1回／日				1						1				2			1			1			
	H24B-2	自動	孔内傾斜計	1回／日	変動C			1						1				2			1			1			
	H24B-2W	自動	水位計	1回／日				1						1				2			1			1			
	H27B-1	自動	パイプ歪み計、水位計	1回／日	変動E			1						1				2			1			1			
	H27B-2	自動	パイプ歪み計、水位計	1回／日	変動E			1						1				2			1			1			
	H28B-1	自動	パイプ歪み計、水位計	1回／日	変動E			1						1				2			1			1			
H28B-2	自動	パイプ歪み計、水位計	1回／日	変動E			1						1				2			1			1				
Mブロック	H16B-2	自動	パイプ歪み計	1回／日	変動E			1						1				2			1			1			
	H16B-3	自動	パイプ歪み計	1回／日	変動E			1						1				2			1			1			
	R6B-1	自動	孔内傾斜計	1回／日				1						1				2			1			1			
	R7B-2	自動	孔内傾斜計	1回／日				1						1				2			1			1			
																		0	0	17	0	0	17	0	0		